

関東昆虫学研究会 第 3 回大会プログラム

日時 2019 年 12 月 28 日(土) 12:10～18:00

会場 玉川大学 大学教育棟 2014 612 教室

(懇親会 18:20～20:00; 学内食堂 Keyaki)

＊ このプログラムは再発行いたしません。当日お忘れなくご持参ください ＊

大会次第

12:10～12:15 開会 大会長 小野正人

12:15～17:45 一般講演

1. 昆虫羽化時に観察される、外骨格が硬くなる順番
朝野維起(首都大・院・理)
2. 昆虫の飛翔に必要なゴム状物質:レジリン遺伝子の機能解析
○萩原翠唯那・相垣敏郎・朝野維起(首都大・院・理)
3. チョウの斑紋形成過程を捉える基礎技術
○岩田大生(東京農大・国際農業)・大瀧丈二(琉球大・理)
4. 日本産 *Saldula* 属(カメムシ目ミズギワカメムシ科)の分類学的研究
瀬戸山知佳(東京農大・昆虫)
5. 日本から新たに発見された旧北区未記録の *Heissiella* 属のゲンバヤムシ
相馬純(東京農大・昆虫)
6. 日本産ホソサシガメ属の分類学的研究
○奥田恭介(CTI アウラ)・吉川明宏(奄美市)・石川忠(東京農大・昆虫)
7. 稀種カバヒラタカメムシ(カメムシ目ヒラタカメムシ科)の再発見
嶋本習介(東京農大・昆虫)
8. 本州より得られたマルハバチ亜科の一種について(ハチ目:ハバチ科)
加藤優羽(川崎市)
9. コガタリハムシの北海道における分布拡大
江村薫(埼玉県植防)
10. 生態補償地—蜜源植物とチョウ類—
平井一男(NPO 法人自然環境観察会)
11. 谷戸水田跡地に造成されたビオトープにおけるトンボ目成虫個体群の季節変化
○宇佐美慧・泉知希・岩見徳雄・田口正男(明星大・理工)
12. 富士山のブナ林のアリ
近藤正樹(近藤蟻蜘蛛研)
13. ハスモンヨトウに性比異常をおこす因子は、近縁種にも感染するのか？
○佐藤嘉紀(東京農大・院)・長峯啓佑(農研機構)・新谷喜紀・岡本悠吾(南九州大)・足達太郎(東京農大)

(15 分間 休憩)

14. フタホシコオロギのオスの求愛行動における性決定遺伝子の役割
○池主格・宮崎智史(玉川大・院・農)
15. セイヨウミツバチのカースト特異的な形質の潜在的連続性
○佐々木謙(玉川大・農)・原田真理子(生物安全研)
16. ミツバチ雄におけるチロシン摂取による脳内ドーパミン増加の仕組み
○渡邊智大・佐々木謙(玉川大・院・農)
17. セイヨウミツバチ雌の変態期におけるエクジステロイドと脳内ドーパミン量との関係
○小沼貴文・加藤慎一郎・佐々木謙(玉川大・農)
18. トビロケアリ女王の蟄居型創設に伴う胸部内部構造の変化
○栗原雄太・千葉雄大・田中寛海(玉川大・農)・宮崎智史(玉川大・院・農)
19. キイロスズメバチの混成群における非巢仲間個体による門番様行動の観察
○西村正和・小野正人(玉川大・院・農)
20. 真社会性ハチ類への麻酔処理がもたらす影響—特に新女王バチの卵巢発達に与える副次効果について—
○長島拓矢・小野正人(玉川大・農)
21. キアシナガバチ創設女王が採集した肉団子からDNAバーコーディング法を用いて獲物を推定する試み
○三友光(玉川大・農)・佐々木哲彦(玉川大・ミツバチ科学)・小野正人(玉川大・農)

17:45～17:55 総会

17:55～18:00 閉会 研究会会長 原野健一

18:20～20:00 懇親会 (会場:学内食堂 Keyaki)

講演のキャンセルがあった場合、その後の講演を繰り上げて進行する場合がございます。

○参加費:一般 2,000 円 学生 1,000 円, 懇親会費:一般 3,000 円 学生 2,000 円

○大会参加費と懇親会費は当日受付で徴収いたします。学生の方は学生証をご提示ください。

○車での入構はできません。

○学内の食堂・売店は休日のため閉店しております。

○玉川大学へは、小田急線「玉川学園前」駅でお降りください。駅から大会会場までは、徒歩 5 分ほどかかりますので、余裕を持ってお越しください。